

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2021No.220】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

曲名：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調

演奏：ノア・ベンディックス＝バルグリー(ヴァイオリン) /  
タベア・ツィンマーマン(ヴィオラ・指揮) /カラヤン・アカデミー奨学生

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/53165>

2021年5月9日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



上記の他に下記が演奏されました。

ヨハネス・ブラームス セレナーデ第2番ト長調

ディミトリ・ショスタコーヴィチ 弦楽八重奏のための2つの小品

ヴィオラ奏者のタベア・ツィンマーマンの指揮の下、若手のカラヤン・アカデミー奨学生達の演奏です。

モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲は、ノア・ベンディックス

＝バルグリーがヴァイオリンのソロ、タベア・ツィンマーマンのヴィオラのソロでの二重協奏曲です。ツィンマーマンは、一度リサイタルを聴いています。バルグリーとツィンマーマンが客席を向かず、アンサンブルの方を向いて演奏し、ヴァイオリンとヴィオラの二人の巧者の掛け合いに加えて、向かいあわせてのアンサンブルとの掛け合いも加わっています。

ブラームスのセレナーデ第 2 番は、ブラームスらしい落ち着いた印象の曲です。ステージから客席に向かう配置でなく、無観客のホールのステージで、円陣を組んでのアンサンブルというかたちで演奏が行われました。従って、音が左右に展開するのではなく、周囲から聴こえるような感じです。

シヨスタコーヴィチの弦楽八重奏は、激しい難曲ですが、若手のカラヤン・アカデミー奨学生の弦楽奏者達が、がんばって弾いています。

以上